

令和4年度 ABLE Time (エイブル タイム) (総合的な探究の時間) 年間指導計画

広島市立舟入 高等学校 全日制 課程 (普通科普通、普通科国際コミュニケーションコース)

実施学年 (1) 年

学校において定める 目 標		<p>(1) 自己の在り方生き方を考えながら、現代社会の問題を自己の問題としてとらえ、課題を発見し、「問い」を立て、よりよく課題を解決していくための資質・能力を育成する。</p> <p>(2) 共働的な活動を通じて、多面的な他者理解と自己の相対化を図り、「対話」の態度を養う。</p> <p>(3) 自己の思いや考えを、相手にわかりやすく発信する力を育てる</p>
内 容	探 究 課 題	課題探究のための「問う」力の育成
	育成を目指す 具体的な 資質・能力	<p>(1) 探究に必要なリテラシーや探究の意義や価値への深い理解</p> <p>(2) 自分の興味関心に応じて社会諸課題について、情報収集やその整理、分析を通して、自分の結論を導く力及びそれらを日本語で表現する力</p> <p>(3) 探究活動に主体的・協働的に取り組もうとする態度や、自己の相対化を図る</p>
付与する単位数		1単位
授業時数の配当方法		基本的に1単位を週ごとに割り振り実施する。 (但し、平和学習に関して、特定の期間・日時に集中的に行う場合もある。)
学 習 活 動		<p>(1) 読書体験を充実させる活動 (読書をして書評を書き、他の生徒と読みあう等)</p> <p>(2) 平和学習 (本校と広島の被爆について学び、人に伝えられるようになる)</p> <p>(3) 課題研究 (「問う」力を育成するための基礎として、以下のようなことに取り組みせる。) 各自の進路又は興味関心に合った学問領域について、文章を読んで課題を明確にし、問いを立ててレポートを作成→生徒相互で読み合いおよび評価→代表者の発表を聞き評価</p>
教 材 の 使 用 等		『ひろしま平和ノート——ヒロシマ発 持続可能な社会の実現 (広島市教育委員会編)』 『証—被爆70周年慰霊の記 (舟入・市女同窓会編)』、プリント教材、新聞、書籍など
指導方法・指導体制		<p>国語科による指導で、クラス単位での共働的な学習活動を実施する。</p> <p>・イノベーションデザイン部において、指導計画および指導案を策定する。</p> <p>・国語科 (1年現代文担当者) が指導計画および指導案を検討し、指導を行う。</p>
評価規準・評価方法		<p>(1) 探究に必要なリテラシーや探究の意義や価値の理解を身につけることができている。</p> <p>(2) 自分の興味関心に応じた社会諸課題について、情報収集やその整理、分析を通して、自分の結論を導く力及びそれらを日本語で表現する力を身につけることができている。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組む態度、自己を相対的に見る力を養うことができている。</p> <p>方法：読書体験や社会の諸問題についての原稿・レポートの作成、成果物の読み合いと評価及び分析、レポート等をもとにした発表</p>

単元	月	探究の過程	学習内容・学習活動	時数	学習形態 (場所)	各教科・特別活動等との関連・ 指導上の留意点等	
読書体験の充実と平和学習	4月	知識の収集	<ul style="list-style-type: none"> ●読書体験を充実させる① ・春の課題作文「私の薦める本」の読み合わせ、紹介、選出 	14	HR単位 (教室)	<ul style="list-style-type: none"> ・新クラスの仲間づくりを、互いの読書体験を通じて行い、共感的理解を深める。 ・本の魅力、読書の喜びなどを喚起し、読書に親しむ態度を育てる。 ・自己の興味・関心と社会の諸問題とを結びつけ、どのような社会貢献が自分にできるのかを考察する。大学進学等の将来の専門的な学びと関連させて考える糸口とする。 ・被爆体験を聞き、被爆の実相と被爆者の願いについて理解を深める。 ・平和記念資料館見学、碑巡り、市女慰霊碑献花を通じて、被爆の実相や核兵器廃絶に向けた国際社会の取り組みを理解し、平和な社会の実現に向けて自分たちのできることを考える。 	
	5月						
	6月						
	7月						
8月		<ul style="list-style-type: none"> ●読書体験を充実させる② ・図書館を利用、活用する。 		<ul style="list-style-type: none"> ●世界を知り、考える① ・平和について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被爆体験を聞き、被爆の実相と被爆者の願いについて理解を深める。 ・平和記念資料館見学、碑巡り、市女慰霊碑献花を通じて、被爆の実相や核兵器廃絶に向けた国際社会の取り組みを理解し、平和な社会の実現に向けて自分たちのできることを考える。 		
世界を知り考える	9月	情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> ●世界を知り、考える② ・社会の諸問題に目を向け、自己の興味関心と照らし合わせる。 ・社会問題のキーワードを知る。 	10	HR単位 (教室)	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事などによる情報収集を通じて、現代社会の諸問題について、論理的、歴史的な理解を深める。 ・現代社会について論点を見つけ、問いを立てて考え、自分の意見を整理・分析するという流れを理解し、それを踏まえたレポート作成の方法を学び、実際に作成する。 ・広島市立中央図書館職員による「ブックトーク」を体験し、図書についての視野を広げる。 ・資料等を読むことで様々な考えを理解し、自分の考えを論理的に説明する能力を高める。 	
	10月						
	11月						課題の設定
	12月						分析表現
1月	まとめ表現	<ul style="list-style-type: none"> ●世界を知り、考える④ ・完成したレポートを読みあい、何人かの発表を聞く。 ・(時間があれば) 考察した内容を小論文にまとめる。 ◎2年生エイブルタイムの課題研究発表を学年全員で聞く。 ●読書体験を充実させる④ ・(時間があれば) 新入生向けの書評を書く。 	8	HR単位 (教室) 学年単位 (講堂)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の考察の集大成として、レポートを完成させて読みあい、質問(問い)の交換などをして視野を広げるとともに考察を深め、発表や評価(相互評価)をする。 ・他の生徒との共働作業や協力関係を通じて、協調性を養う。 ・他の発表に対し、評価:分析する態度を養う。 ・考察内容を小論文に纏める際は、他の生徒と問いを交換して考えたことも含めるようにする。 ・1年間の振り返りをする。 		
2月							
3月							